

# 電動シャッター

## 取扱説明書

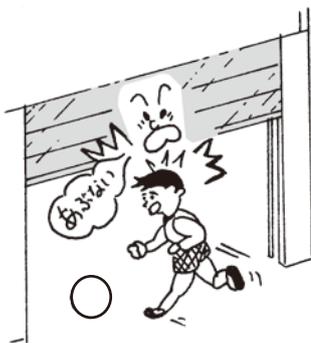
このたびは、当製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。お取り付け後は、常に良好なご使用状態を維持していただくためにも正しいお取り扱いが必要です。万一、取り扱いを誤ると人身事故や故障の原因にもなりますので、ご使用前にこの取扱説明書をお読みになり、内容をよく理解された上で、正しく使用して下さい。また、本書は万一の時の処理についても記載してありますので、いつでも再読できるように大切に保管しておいて下さい。

### ご使用上の注意



#### 警告

取り扱いを誤った場合に死亡または、重傷を負う可能性がありますので、十分注意して下さい。



開閉操作する前に、物が置いてないか、人の出入りがないか、必ず確認して下さい。特にお子様の飛び出しなどに注意して下さい。



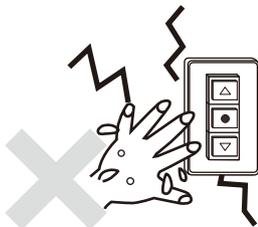
シャッター本体にぶらさがらないで下さい。



シャッターがガイドレールから外れた場合は、絶対にシャッターの回りに近寄らないで下さい。シャッターがパタツキ、大変危険です。そのままの状態です必ず販売店までご連絡下さい。



シャッターにハシゴなどを立て掛けて作業をしないで下さい。作業中に他の人にシャッターを動かされると危険です。



濡れた手で押しボタンスイッチを触らないで下さい。感電の恐れがあり、大変危険です。



押しボタンスイッチまたは手動閉鎖装置の回りには、障害物を置かないで下さい。手動閉鎖装置は、いつでも操作できる状態にしておいて下さい。



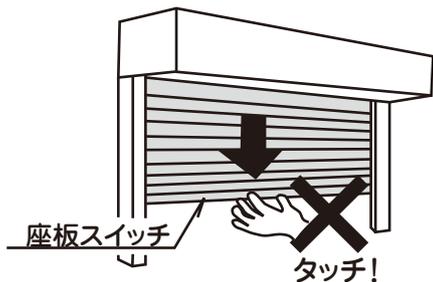
押しボタンスイッチ内やシャッターケースなどを分解したり、不当な修理・改造はしないで下さい。

# ご使用上の注意



## 警告

取り扱いを誤った場合に死亡または重傷を負う可能性がありますので十分注意して下さい。



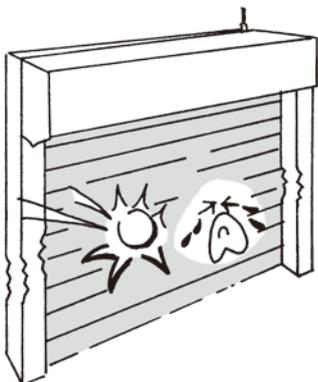
故意に座板に触れ、シャッター動作を停止させないで下さい。故障の原因になります。



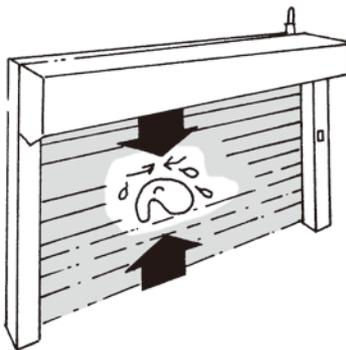
周囲で強い電波が発射されていたり、アンテナの近辺に金属ネットや駐車中の車がある場合は、リモコンの操作距離が短くなる場合があります。近づいて操作して下さい。



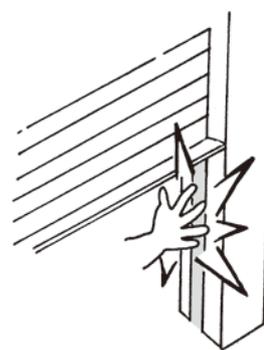
シャッターに直接水をかけないで下さい。シャッター内部の電装部品に水がかかると故障の原因になります。



シャッターに物をぶつけたりしないで下さい。



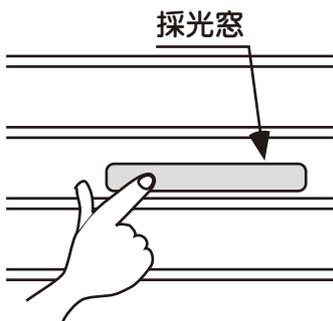
頻繁な開閉の繰り返しは、故障の原因になります。モーターが加熱すると、安全の為動かなくなります。



ガイドレール溝に手を入れないで下さい。指を負傷する恐れがあります。



シャッターを半開きの状態で使用される場合は、頭や車等をぶつける恐れがあるので注意が必要です。



採光窓などがスラットから外れた場合は、スラットの取付穴には手・指を入れないで下さい。

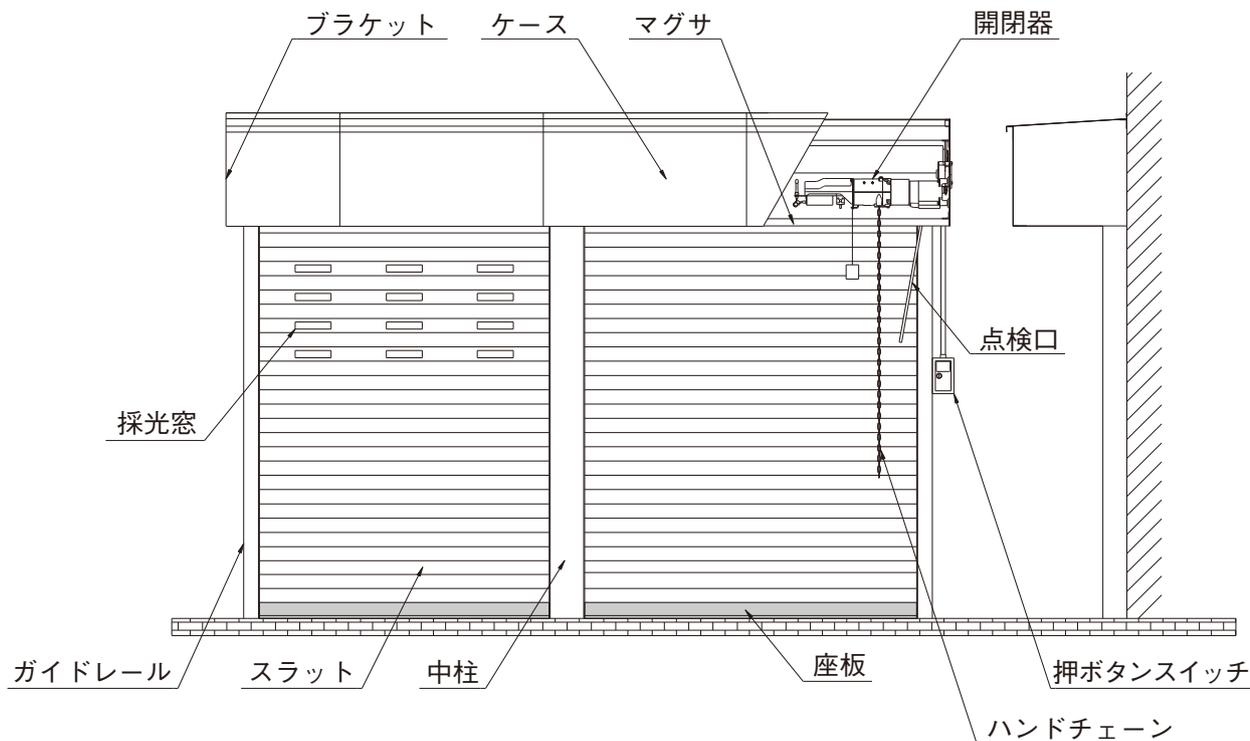


中柱がある場合、必ず取り付けてから、シャッターを操作して下さい。

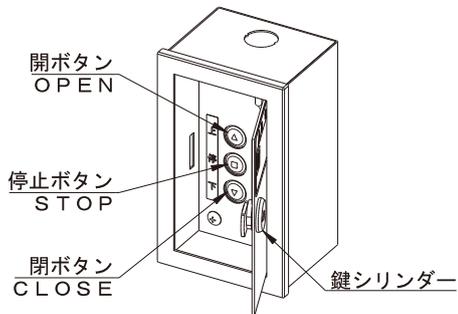
# 1. 各部の名称

## ■ 負荷検知式障害物感知装置付シャッター

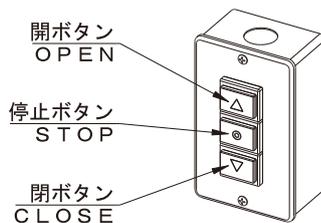
※本図は、軽量電動シャッターを示します。



## ■ 押ボタンスイッチ

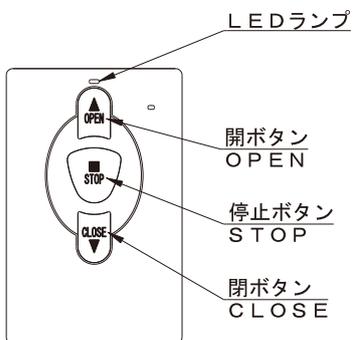


(鍵付き押ボタンスイッチ)

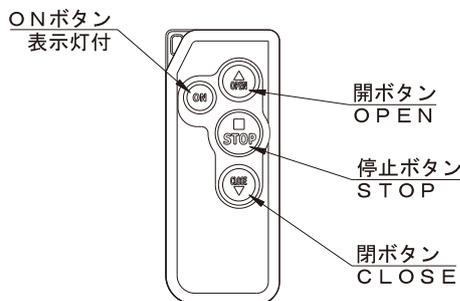


(露出型押ボタンスイッチ)

## ■ リモコンスイッチ



(カード型)



(2アクション型)

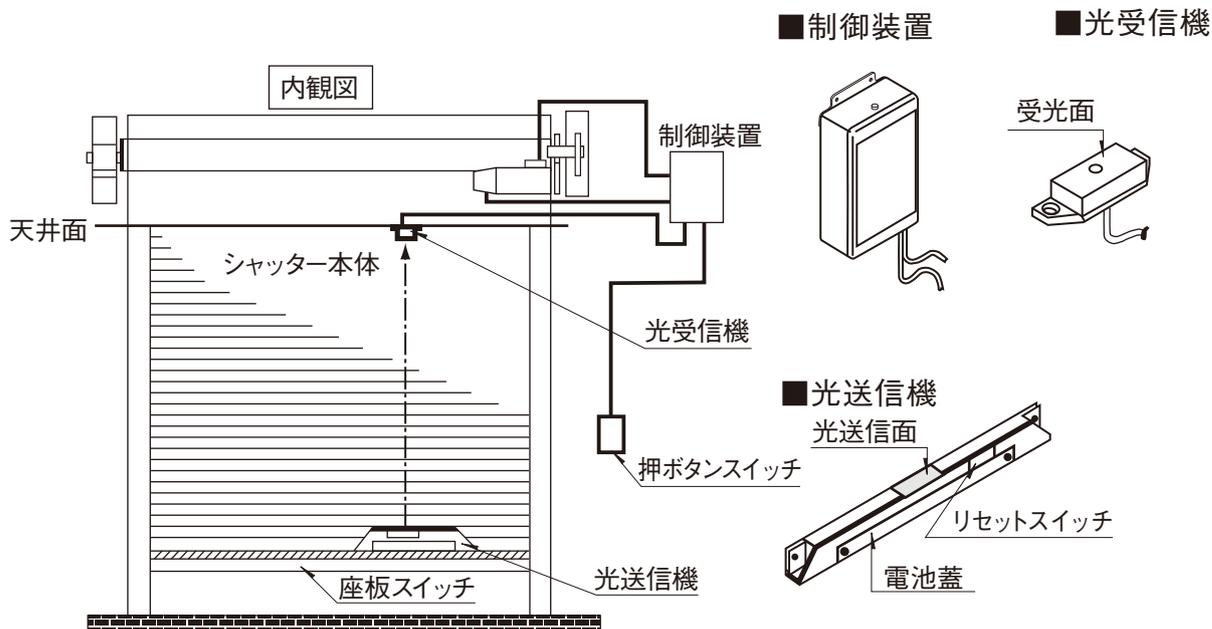
### 2アクション型の特徴

※OPEN・CLOSE ボタンは、ON ボタンが点灯した状態で操作できます。

※ON ボタンは押した後5秒間点灯します。

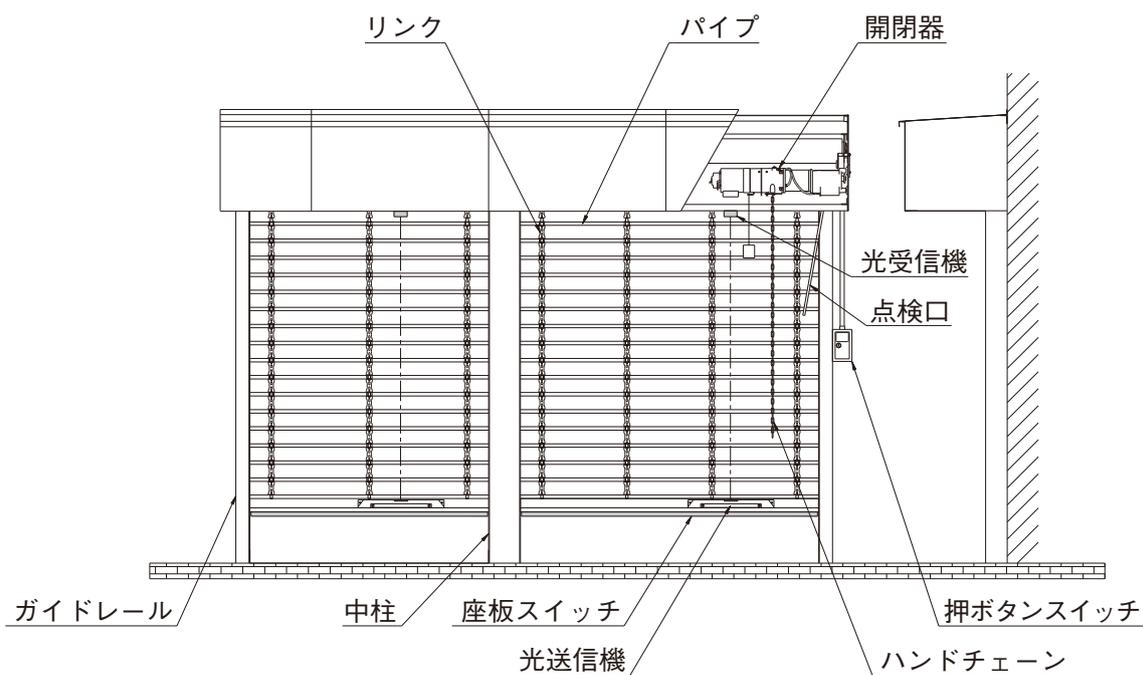
※STOP ボタンはON ボタンが点灯していなくても操作可能です。

## ■ 赤外線式障害物感知装置付シャッター



本体最下位部に取り付けた座板スイッチにより障害物を感知し、シャッターを自動的に停止させ事故を未然に防ぐ障害物感知装置付シャッターです。

## ■ パイプ式軽量電動シャッター（赤外線式障害物感知装置付）



## 2. 操作方法



**注意：操作する際、必ず次のことを守って下さい。**

1. シャッターの下に人がいないか必ず確認して下さい。
2. 周囲の状況に注意して、安全を直接目で見て確認して下さい。
3. シャッターのまわりに物が立ってかけられていたり、置いていないことを確認して下さい。
4. お子様には操作させないで下さい。
5. シャッターが停止するまで目を離さず、その場を離れないで下さい。

### ■ 通常の開閉操作

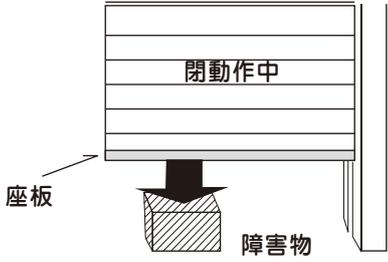
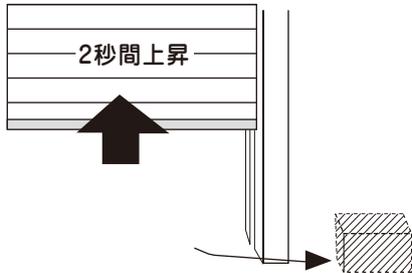
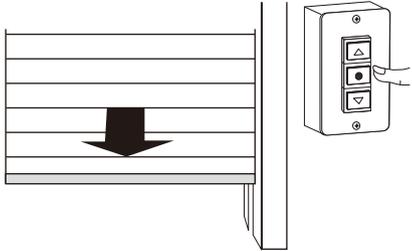
<div data-bbox="111 746 220 779" data-label="Caption"> <p>開ボタン</p> </div> <div data-bbox="300 648 478 869" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="89 1028 539 1174" data-label="Text"> <p>シャッターを上げたい時に押して下さい。 シャッターは上限まで上昇します。 シャッター下降中の場合には、無効となります。 一度停止ボタンを押して、開ボタンを押して下さい。</p> </div>	<div data-bbox="580 746 721 779" data-label="Caption"> <p>停止ボタン</p> </div> <div data-bbox="798 648 973 869" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="563 1028 1019 1087" data-label="Text"> <p>シャッターを停止させたい時に押して下さい。 シャッターは、いつでも停止します。</p> </div>	<div data-bbox="1059 746 1171 779" data-label="Caption"> <p>閉ボタン</p> </div> <div data-bbox="1265 648 1444 869" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1042 1028 1514 1174" data-label="Text"> <p>シャッターを下げたい時に押して下さい。 シャッターは下限まで下降します。 シャッター上昇中の場合には、無効となります。 一度停止ボタンを押して、閉ボタンを押して下さい。</p> </div>
---	---	--

### ■ 停電時の操作 (この操作は、危険がともないますので、電源が復旧するまでお待ち下さい。)

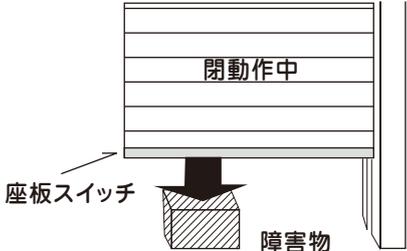
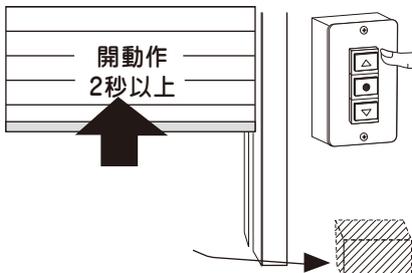
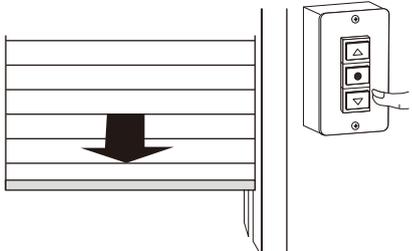
<div data-bbox="95 1306 392 1338" data-label="Caption"> <p>【シャッターを開放する場合】</p> </div> <div data-bbox="95 1415 539 1753" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="89 1806 542 2105" data-label="Text"> <p>脚立等を用いてケース下面の点検口（ハッチ）を開け、ハンドチェーンを降ろします。 手前側のチェーンを連続して引くと開放します。 下端の座板の位置を確認しながら、天井面のマグサまたはケースに納まった時点で操作を中止して下さい。（有効開口高3mくらい巻上がるのに5～10分程度かかります） 巻き込みすぎると故障の原因となります。 動作完了後は、チェーンを戻し、点検口を必ず締めて下さい。</p> </div>	<div data-bbox="569 1306 868 1338" data-label="Caption"> <p>【シャッターを閉鎖する場合】</p> </div> <div data-bbox="657 1415 901 1753" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="563 1806 1019 2101" data-label="Text"> <p>※ワイヤータイプ ブレーキ装置開放用のワイヤーをゆっくり引っ張り、シャッターを自重降下させます。 座板の位置を確認しながら床についた時点でワイヤーを離し、降下を中止します。 ※レバータイプ レバーをゆっくり引き、シャッターを自重降下させます。 座板の位置を確認しながら、床についた時点でレバーを離し、降下を中止します。</p> </div>	<div data-bbox="1042 1306 1367 1338" data-label="Caption"> <p>【閉鎖時に自重降下しない場合】</p> </div> <div data-bbox="1070 1415 1428 1720" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1042 1806 1514 1952" data-label="Text"> <p>※ブレーキ装置を開放しても自重降下しない場合は、ブレーキ解放用のワイヤー（紐）を引いてブレーキを解放しながら座板を手で引き下げて下さい。ある程度下げると自重降下が始まります。</p> </div>
---	--	--

## ■ 中間に障害物がある場合

### 負荷検知式障害物感知装置付シャッター

 <p>閉動作中</p> <p>座板</p> <p>障害物</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●閉鎖作動中、座板が障害物（人・物など）にあたった場合、シャッター本体は自動的に停止し、5秒間ブザーが鳴ります。</li></ul>	 <p>2秒間上昇</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●停止後、シャッター本体は自動的に2秒間上昇し、5秒間停止した後、再度降下を始めます。</li><li>●障害物を取り除いて下さい。</li><li>●同じ位置に障害物がある場合は、反転上昇した後、停止します。</li></ul>	 <ul style="list-style-type: none"><li>●シャッター本体は自動的に下降します。</li><li>●障害物を2回感知して停止している場合は押しボタンスイッチ又はリモコンの停止ボタン（STOP）を押してインターロックを解除してからシャッターを操作して下さい。</li></ul>
---	--	---

### 赤外線式障害物感知装置付シャッター

 <p>閉動作中</p> <p>座板スイッチ</p> <p>障害物</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●閉動作中、座板スイッチが障害物（人・物など）にあたった場合、シャッター本体は自動的に停止します。</li></ul>	 <p>開動作 2秒以上</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●押しボタンスイッチまたはリモコンにより、開ボタンを必ず2秒以上押し続けて下さい。（途中、上限で自動停止しても、そのまま押し続けて下さい。） 2秒未満の場合リセットされません。</li><li>●障害物を取り除いて下さい。</li></ul>	 <ul style="list-style-type: none"><li>●押しボタンスイッチまたはリモコンにより、再度閉動作を行って下さい。</li></ul>
---	--	---

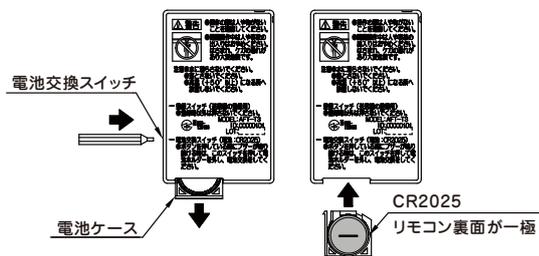
# 3. 電池交換

## ■ リモコン装置

### カード型リモコンの場合

- ・側面の電池交換スイッチをボールペン等の先で押すと電池ケースがスライドしますので、電池ケースを引き出して下さい。
- ・新しく用意した電池を極性に注意してケースに装着して下さい。  
(ボタン型リチウム電池 **CR-2025**-3V×1個)  
※リモコン裏面が**－極**、表面が**＋極**になります。
- ・電池ケースを元に戻し、「カチッ」と音がするまで差し込んで下さい。

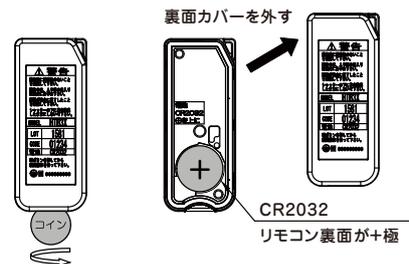
カード型 裏面



### 2アクション型リモコンの場合

- ・リモコン下側にあるくぼみにコイン等を差し込み、ひねってこじ開け、裏面カバーを外します。
- ・新しく用意した電池を極性に注意して装着し、裏面カバーを取り付けて下さい。  
(ボタン型リチウム電池 **CR-2032**-3V×1個)  
※リモコン裏面が**＋極**、表面が**－極**になります。

2アクション型 裏面



## ■ 光送信機…赤外線式障害物感知装置付シャッター

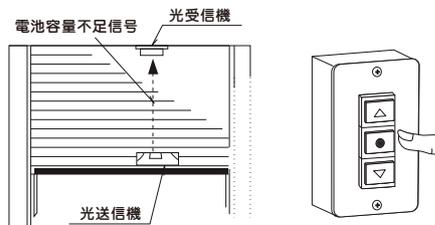
光送信機の電池が消耗すると、閉操作のみ押し切り操作になります。  
新しい電池と交換して下さい。

### 1. 電池不足信号

閉動作中の場合、電池の容量が不足すると、自動的に停止します。

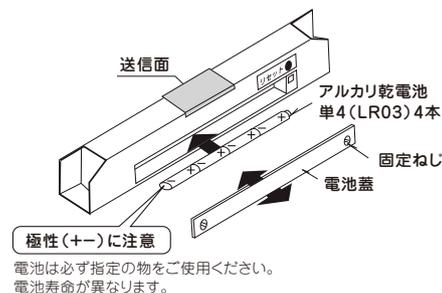
### 2. 押し切り操作

押しボタンスイッチまたは、リモコンスイッチのボタンを押している間だけ動作します。



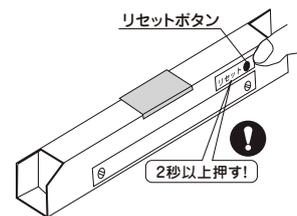
### 3. 電池交換

1. 固定ねじを(⊖)ドライバーまたは手持ちのコインでゆるめ、電池カバーを外し、古くなった電池を取り出します。
2. 新しく用意した電池(単4型アルカリ電池 **LR03**-1.5×4本)の極性を確認の上、装着し、電池カバーを取り付けて下さい。



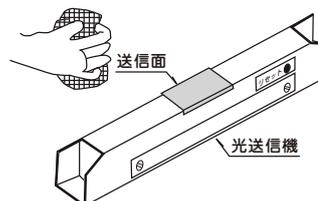
### 4. リセット

発信器のリセットボタンを2秒以上押して下さい。  
2秒以上押さないとシャッターは通常操作できません。



## ■ 光送信機のお手入れ…赤外線式障害物感知装置付シャッター

光送信機の光送信面の汚れにより、検知できないことがありますので、2ヶ月に一度は、柔らかい乾いた布等で掃除して下さい。



## 4. お手入れ方法



**注意：清掃する際、必ず次のことを守って下さい。**

1. 高所作業の場合は、足場の安全を確保してから行って下さい。
2. 直接ホースで水をかけないで下さい。

立地条件	清掃回数
臨海工業地帯	1年に 1～2回
海岸・工業地帯	1年に 1回
市街地	1～2年に 1回
田園地帯	2年に 1回



### ■ 清掃手順

1. 水で汚れを洗い落として下さい。
2. 水洗いで落ちない場合は、中性洗剤をぬるま湯で溶かし、スポンジまたは柔らかい布で洗って下さい。
3. 水で十分に洗剤を洗い流して下さい。
4. 乾いた布で水分を拭き取って下さい。

## 5. 故障と思われる前に

	こんな時	ここをお確かめ下さい
共通	押しボタンスイッチを押しても作動しない	停電していませんか？ ➔ 電源が復旧するまでお待ち下さい。どうしても開閉したい場合は、手動で操作して下さい。
		ブレーカーが「切」になっていませんか？ ➔ ブレーカーが落ちた原因を除去した後、ブレーカーを戻して下さい。
		リモコン操作の場合、電池が消耗していませんか？ ➔ リモコンの電池を交換して下さい。
		連続運転していませんか？ ➔ 10分以上放置後、再度操作して下さい。
障害物感知装置付シャッター	赤外線式障害物感知装置が作動しない	光送信機の送信面が汚れていませんか？ ➔ 送信面を清掃して下さい。
		光送信機と光受信機の間には遮へい物がありますか？ ➔ 遮へい物を取り除いて下さい。
		座板が凍結していませんか？（伸縮しない） ➔ 凍結中装置が作動しない為、解凍して下さい。
	閉動作途中で停止した	障害物はありませんか？ ➔ 障害物を取り除いて下さい。
	障害物を取り除いても下降しない	インターロックを解除しましたか？ ➔ 負荷検知式：スイッチの停止ボタンを押して下さい。 ➔ 赤外線式：スイッチの開ボタンを2秒以上押し続けて下さい。
2秒以上の上昇操作ができず、通常操作にならない	全開近くで障害物があって停止しませんでしたか？ ➔ 赤外線式：スイッチの開ボタンを2秒以上押し続けて下さい。	

上記以外の症状または、上記内容の確認で改善されない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡下さい。

## 6. 修理依頼

品質には、万全を期しておりますが、万が一不都合があった場合は、ご使用になるのをおやめ下さい。そして、取扱説明書をよくお読みの上、再度点検していただき、なお異常があるときは、販売店または弊社営業所にご連絡下さい。

本取扱説明書は、紛失または汚損した場合は、再発行いたします。お気軽に販売店またはお近くの弊社営業所へご連絡下さい。

## 北陸東五シャッター株式会社

〒910-0846 福井県福井市四ツ井1-14-5  
TEL (0776) 54-4455